

3年－Unit 8

単元名 What's this? これなあに？

1. 単元目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・クイズを出したり答えたりし合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○ What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.

○ it, hint, sea, 動物(elephant, horse), spider

[既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. No. Sorry. 数(1~30), 果物・野菜, 飲食物, 動物, 色, 形, 状態・気持ち, what, is, this, please

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4. 単元計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>【Let's Play 1】 p.30, 31 ・映像資料を視聴し、隠れている物が何かを考える。</p> <p>【Let's Play 2】 p.32 ・シルエットや断面図から何かを考えて答える。</p> <p>○シャッフル・ゲーム</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31</p>	<p>◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析></p> <p>◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31</p> <p>○What's this? クイズ</p> <p>○ステレオ・ゲーム</p> <p>【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 1 p.32, 33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。</p>	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
3	<p>◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31</p> <p>【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 2, 3 p.32, 33 ・映像資料でヒントを聞いてそれが何かを考え、答える。 ・ヒントを考えクイズを出す。代表児童がヒントを聞いて答える。</p>	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

4	<p>◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31 【Activity】 ②漢字クイズ, ③足あとクイズ p.33</p> <p>○クイズ大会の準備をする。 ・これまでに行ったクイズや他のクイズなどから, グループで1つ選び準備をする。</p>	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆ある物について尋ねたり答えたりして伝え合ったり, 相手に伝わるように工夫しながら, クイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31 【Activity】 クイズ大会をしよう。 p.32, 33</p> <p>・グループごとにクイズを出し合う。 ・出題側と回答側に分かかれ, 途中で交替して行う。</p>	<p>◎ある物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら, クイズを出したり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

3年 Unit 8—Lesson 1 What's this? これなあに? 1/5時間

目 標 外来語とそれが由来する英語の違いに気付く、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（野菜、果物、動物）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
13分	【Let's Play 1】 p.31 ・映像資料を視聴し、隠れている物が何かを考える。	・誌面を示しながら、What's this? What can you see? などと尋ね、場面を理解させるとともに、自然の中で遊んだ経験を引き出すなどして活動への意欲付けを図る。 ・虫眼鏡の中に見える物についても、What's this?と問い、個人やグループで予想させ、デジタル教材で答えを確かめる。 ・自然な会話の中で、昆虫など身の回りの物の言い方やある物が何かと尋ねる表現と出会わせるようにする。 (見開きページ左から) (春) カラスの巣 (夏) クモ (秋) ガの羽 (冬) フクロウ	デジタル教材 児童用テキスト
	① What's this? A nest? Yes, it's a nest. ② What's this? A gorilla? No, it isn't. It's a spider. ③ What's this? A face? No, it isn't. It's a moth. ④ What's this? A tree? Yes, it's a tree. Look, an owl in the tree.		
10分	【Let's Play 2】 p.32 ・シルエットや断面図から何かを考えて答える。 (上段左から) にんじん・きゅうり・桃・パイナップル (下段左から) 玉ねぎ・ピーマン・オレンジ・トマト	・映像のシルエットや断面図を見せ、それぞれが何かを考えさせ、発表させる。児童の答えを引き出しながら、野菜などの言い方に出会わせる。 ・peach, pineapple, orange, tomato など、外来語としてなじみのある野菜や果物を扱うことから、英語での言い方に出会わせる際に、日本語では手をフラットに移動して発音して聞かせ、英語の場合には、強く発音する部分などは、手を挙げたりして、音声の違いに気付かせるようにする。 ◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (野菜、果物)
8分	○シャッフル・ゲーム	・身の回りの物の言い方を確認し、デモンストレーションで進め方を示す。	教師用カード (野菜、果物、動物)
<p>シャッフル・ゲームの進め方</p> <p>・英語での言い方を確かめながら、順に教師用カード（野菜、果物、動物）を裏返す（3～4枚）。児童に入れ替えた順が分かるように、2、3回入れ替える。1枚のカードをさし、What's this?と児童に尋ねる。児童の答えに応じてカードを表に返し、確認する。絵カードを替えたりして活動を繰り返し、身の回りの物の言い方に慣れ親しませる。</p>			
		◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	【Let's Chant】 What's this? p.31 動物（犬・猿・虎）	・最初は画面を見せずに、音声だけを集中して聞かせ、どんな英語が聞こえたかを尋ねるなどして、意欲付けを図る。 ・画面を見ながらクイズに答えるような気持ちで、リズムに乗って楽しく言わせるようにする。慣れたら、動物の部分を中心に替えてオリジナルチャンツを作って言ってもよい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (動物)
	What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!		
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 8—Lesson 2 What's this? これなあに? 2/5 時間
目 標 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（色、形、野菜、果物、動物、大文字）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】 What's this? p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right! </div>	デジタル教材
10分	○What's this? クイズ	・指導者は、これまでに児童が慣れ親しんだ語彙の教師用カードの上に、無地のカードを重ねて持ち、児童に What's this? と尋ねる。児童に Hint, please? とヒントが欲しいか尋ね、児童から Hint, please. という表現を引き出しながら無地のカードを少しずつらして、その下にある絵の一部を見せ、What's this? と尋ねる。これを繰り返しながら、児童にこれまでに慣れ親しんだものを思い出させたり、ある物が何かを尋ねる際の表現を何度も聞かせ慣れ親しませたりするようにする。	教師用カード (動物、果物、野菜) 教師用カード (大文字)
10分	○ステレオ・ゲーム What's this? It's ~.	・ステレオ・ゲームをすることを告げ、デモンストレーションで進め方を示す。最初は、指導者が What's this? と尋ねるが、児童も一緒に尋ねるよう促す。活動中は個に応じた支援を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> ステレオ・ゲームの進め方 ・黒板に5～6枚の絵カードを掲示する。代表児童を3～4名指名し、それぞれの児童に、黒板の教師用カードと同じものの中から選んだカードを、他の児童に見えないように持たせる。他の児童は、全員で What's this? と、代表児童が持っているカードをさしながら尋ね、代表児童は、一斉に、(It's) ~. と答える。それを聞いて、誰が何と言ったか当てるゲーム。表現に慣れ親しませることがねらい。 </div> ◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたと言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>	教師用カード (動物、果物、野菜、大文字)
12分	【Activity】 ①ヒント・クイズ Q1 p.32, 33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> Hint 1 : A fruit. Hint 2 : Yellow. Hint 3 : Monkey. What's this? It's a banana. That's right. </div>	・デジタル教材を使って、ヒント・クイズの Q1 のみを出題する。Q1 はヒントが単語レベルであるが、Q2, 3 は文レベルであることから次時で扱い、本時では Q1 のみを扱う。 ・3つのヒントの音声を聞かせ、それが何かを考えて答えさせる。これを参考に、児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使って、以下のようなヒントを考えて出題する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> A: Hello. B: What's this? A: Hint 1. (It's) ~ (fruit などのカテゴリ) . A: Hint 2. (It's) ~. (色など) A: (Hint 3. (It's) ~.) B: It's ~. A: That's right. Thank you. </div>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (色、形、野菜、果物、動物、大文字)

<p>ヒント・クイズの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、黒板に掲示した絵カードの中から、1枚を封筒に入れておき、その封筒を指さして What's this?と問い、児童の興味をひく。そして、Hint 1. A fruit. Hint 2. Red. などとヒントを出して、それが何かを考えて答えさせる。 ・児童がこれまでに慣れ親しんではいないが、指導者のジェスチャーや児童用テキストのイラストで見たり、外来語で聞いたりしたことがあるような語彙で、その意味を類推しやすい small, vegetable, animal, purple などをヒントにする。そうすることによって英語だけだなんとなく分かる体験をさせるようにする。また、このようにヒントの出し方を十分に示すことで、単元終末の活動につなげる。 			
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 8—Lesson 3 What's this? これなあに? 3/5 時間

目 標 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 動物など), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】 What's this? p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!	デジタル教材
10分	【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 2, 3 p.32, 33 ・映像資料でヒントを聞いてそれが何かを考え, 答える。	・デジタル教材を使って, ヒント・クイズ Q 2, 3 を行う。前時は, Q1 で単語レベルを扱ったが, 本時は, It's ~. の文を扱う。 ・2つのクイズの後, これらを参考に, 以下のようなヒントや前回のヒントから It's ~. で表現するのに適切なヒントを考えて出題する。 ・デジタル教材の画面にある 14 種類の物から1つを選び, 児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使うようにする。その際, 事前に黒板に掲示した絵カードの中から, ある物の絵カードを封筒に入れておき, その封筒を指さして What's this? と問い, 児童の興味をひく。 ・児童自身がヒントを考える次の活動につなげる。	デジタル教材 児童用テキスト
	Hint 1 : It's a fruit. Hint 2 : It's red. Hint 3 : It's a triangle. What's this? It's a strawberry. That's right.	Hint 1 : It's an animal. Hint 2 : It's black and white. Hint 3 : It's from China. What's this? It's a panda. That's right.	
		クイズ・ヒント例 It's an apple.: It's a fruit / red / a circle. It's milk.: It's white / a rectangle / a drink.	
22分	・ヒントを考えクイズを出す。代表児童がヒントを聞いて答える。	・前活動の流れでヒント・クイズを以下のように行う。	教師用カード (食べ物, 動物など) 児童用テキスト デジタル教材
	ヒント・クイズの進め方 ・質問に答える代表児童を選ぶ。その児童は, 前に出て他の児童に背を向けて立つ。 ・指導者は, その児童の後ろに立ち, 代表児童に見えないように, 題 (児童がこれまでに慣れ親しんでいる語のイラストや写真, 絵カードなど) を他の児童に見せる。 ・他の児童は, その題について色や形, カテゴリーのヒントを出す。その後, 一斉に What's this? と尋ねる。 ・代表児童は, ヒントを頼りにそれが何かを答える。 ・児童の実態に応じて, 上記のように全体で行ったり, グループやペアで行ったりするなど活動形態を工夫するとよい。扱う語彙は, 児童が色や形, カテゴリーなどヒントを出しやすいものにする。 ・児童が慣れてきたら, 比較的ヒントが出し易い語をあらかじめ選んでおき, それらの中から選ばせてもよい。 ・言葉によるヒントとともに, ジェスチャーも可とするなど, 実態に応じた柔軟な支援を行い, 児童が達成感を味わえるようにする。		

		<p>※児童にとって出題が難しい場合は、代表児童を2人にして協力して答えを考えさせてもよい。また、クラスを半分に分け「ヒントを出すチーム」と「答えを考えるチーム」とし、「ヒントを出すチーム」に指導者が入り、児童と一緒にヒントを考えるという形態にすることも一案である。</p> <p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 8—Lesson 4 What's this? これなあに? 4/5 時間

目 標 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, クイズで使用するもの, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】 What's this? p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!</div>	デジタル教材
10分	【Activity】 ②漢字クイズ, ③足あとクイズ p.33 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">②漢字クイズ 海星 (ヒトデ) What's this? It's a starfish. This <i>kanji</i> means "starfish." 海月 (クラゲ) What's this? It's a jellyfish. This <i>kanji</i> means "jellyfish." 海馬 (タツノオトシゴ) What's this? It's a sea horse. This <i>kanji</i> means "sea horse."</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">③足あとクイズ ネコ What's this? It's a cat. It's a cat's footprint. ウサギ What's this? It's a rabbit. It's a rabbit's footprint. ゾウ What's this? It's an elephant. It's an elephant's footprint.</div>	・児童が自分たちでクイズを作れるよう, 様々なクイズを出したり答えたりする体験をさせる。 ・②漢字クイズ及び③足あとクイズの答えは, 児童用テキストの誌面にはない物もある。 <②漢字クイズ> ・What's this?と, 児童にまず漢字の読み方を尋ねてみる。「うみほし?」などの発言を受けて, 「海の生き物」というヒントを与える。児童は, 「星の形をした海の生き物」ということで「ヒトデ」を思い浮かべると思われる。その後, 英語では何とよいか考えさせる。 ・漢字は, 1文字が意味をもつ表意文字であること, アルファベットの文字は1文字では意味をもたない表音文字であることなどにも触れたりしながら, 言葉の面白さに気付かせるようにする。 <③足あとクイズ> ・足あとをさして What's this?と尋ねる。写真だけでは予想できないと思われるので, 児童に Hint, please. とかわせて, 例えばウサギであれば long ears. などとヒントを与えるようにする。児童に予想をさせた後, デジタル教材で答えを確認する。 ◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いて言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
22分	○クイズ大会の準備をする。 ・これまでに行ったクイズや他のクイズなどから, グループで1つ選び準備をする。	・次時に向けてクイズ大会の準備をさせる。 ・各グループを回りヒントの出し方などについて支援する。 ・これまで扱った「シルエット」「漢字」「足あと」「ヒント・クイズ」の他, 「お絵かき」「穴開け (裏に写真等を隠し, ○や△等の窓のついた台紙をのせ, 窓を開けヒントとする)」「封筒 (写真を入れ, 少しずつ見せる)」クイズなどもある。児童の自由な発想も認めながら, クイズの方法を選ばせる。	クイズで使用するもの
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 8—Lesson 5 What's this? これなあに? 5/5 時間

目 標 ある物について尋ねたり答えたりして伝え合ったり、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, クイズ大会で使用するもの, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】 What's this? p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!</div>	デジタル教材
32分	【Activity】クイズ大会をしよう。 p.32, 33 ・グループごとにクイズを出し合う。 ・出題側と回答側に分かち、途中で交替して行う。	・出題側と回答側に分かれて活動させ、途中で交替させる。 ・What's this? It's ~. Hint, please. It's ~. That's right. などとやり取りをしながら、クイズを出したり答えたりすることを告げる。 ・相手に伝えるにはどのような工夫が必要か等についても考えさせ、活動のめあてを意識させる。 ・途中で活動を止め、中間評価を行う。相手に伝わるように工夫している例を共有し、後半の活動が一層ねらいに沿ったものとなるようにする。 ◎ある物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト クイズ大会に使用するもの
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	